

星の夢百聞

～ 第162号 ～

発行日:2019年 8月1日

発行:有限会社 おいらーく

札幌市東区北25条東20丁目7-1

発行人:星野 二三江

「グループホーム 夢」が 開設 2周年を迎えました!

さあ、今年もグループホーム夢では7月21日、夏祭りが催されました。

スタートと同時に会場が入居者様、ご家族様の笑顔と笑い声で包まれました。何と!総勢70名。メインの焼肉ブースでは、ご家族様とスタッフがジンギスカンや焼き鳥を汗を流しながら焼いております。こんがり、ジューシーに焼けたお肉に皆様大満足。

そして去年も大好評だった流しソーメン!沢山の入居者様、ご家族様が参加されました。おや?ソーメンと一緒にミニトマトとサクランボがコロコロと流れてきます。これには皆様、大笑い。箸でなかなか掴めず悪戦苦闘。手づかみで召し上がる場面も...!(笑)

別の会場ではボランティアの皆様が素敵なバンド演奏を披露しに駆けつけてくださいました。こちらもお大盛況、拍手喝采!すると突然始まったダンスパーティー!手拍子をしていた入居者様、ご家族様、スタッフが一人また一人とノリノリで踊り始めます!それを見たボランティアの皆様の演奏にも一層力が入ります。

永遠に続くかと思われた宴も終了の時間がやってきました。入居者様、ご家族様は大変楽しまれた様子で「楽しかったよ!」と声を掛けていただきました。開始から終了まで入居者様、ご家族様、スタッフも笑顔と笑いで過ごしたとても良い時間でした。

来年も今年以上の夏祭りを企画していきたいと思えます。ご協力して頂いたご家族様、職員様、本当にありがとうございます。

グループホーム夢 林 大輔



うきうき☆
わくわく(^^)
熱い期待の眼差し
頂きました♡



冷たいソーメン!!

ノリノリダンス♪



ジュージューと音が
聞こえてきそうです。



行事

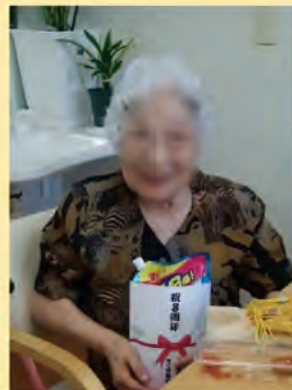
8周年 イベント開催！！ 東雁来第2ケアサポートセンター

やってきました、東雁来式番館！7月1日で丸8年がたちました。住宅の御利用者様はひそかに楽しみにしているとのうわさ！そこで、私たち職員は考えました。選べるランチはどう？いいねー面白いねー！

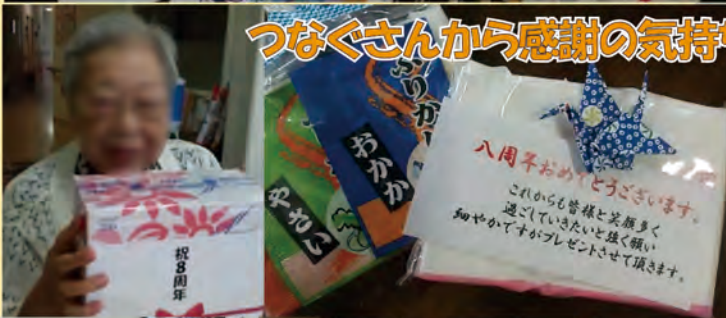
と言う事で食事処を考えてみました。皆さんが好きなお寿司、お好み焼き、マクドナルド、ほっともっと、ケンタッキーフライドチキンの5つに絞りました。何と、3分の2の方が、お寿司とバラちらしに集中し、楽しい食事会となりました。こじんまりですが、抽選会も実施し、トイレットペーパー、オロナミンC、洗剤、ポカリ、ビールなどなど当たっていました。皆さんの温かい拍手、席の譲り合い、笑顔がともうれしくささやかですが、はじめての自分で選ぶご飯の行事でした。大成功でした。



選べるメニュー満載！



お寿司大好き



つなぐさんから感謝の気持ち



抽選会やってます



ビールでカンパイ！



昔からマック好き



笑顔がいっぱい



企画
報告

介護施設ってどんなところ??

見学ツアー

に参加
しませんか?

介護に興味のない方でももちろんOK!
ちょっと見てみたい、介護施設ってどんなところか知りたい
おいしいご飯が食べてみたい、などなど、なんでもOK!
ちょっと覗いてみませんか。お誘いあわせの上、
ふるってご参加ください。



今回初めての企画として、地域の方々においらーくを知っていただき、地域の声を聴く機会にもなればと、おいらーく周辺地域に「見学ツアー」と題して、新聞の折り込みチラシを入れることになりました。初めての試みであり、どれだけの反応があるのか、誰も申し込みがなかったらどうしようか、と半信半疑の中、とりあえず準備だけはしておりました。そして、チラシ配布の日です。朝8時前から最初の申込の電話が鳴り、次の日もその次の日も電話が鳴り、お友達と参加したいという方や夫婦で申し込まれる方なども多く、地域の方の関心の高さに驚き、嬉しくなりました。結局、申込人数が多くなり、予定のバスを増加しても乗り切れない人数になってしまったため、安全面や当日の食数の兼ね合いもみながら、終盤に申し込んだ方には泣く泣くお断りさせていただくこととなりました。

7月18日当日は、30名の方がお越しください、2グループに分かれて、3つの事業所の見学をしました。てんやわんや、うらら伏古、えくぼ元町とココ元町の見学です。それぞれの事業所長が丁寧なわかりやすく、事業所の説明から、活動の紹介、施設内の案内をしてくれました。利用者の方がいる中での団体見学でしたので、利用者の方にもご迷惑であったと思うのですが、どの事業所でも快く見学を受け入れてくださり、利用者の方自ら「僕の部屋見せてあげようか」と声をかけてくださったり、「このデイはいろいろさせてくれるからいいよ」と営業をしてくれる方もいました(笑)。バスの中でも初対面の方々が少しずつ会話されている様子もあり、タイトなスケジュールの中でも、和やかな雰囲気で見学することができていました。戻ってから、配食事業部が原簿以上に(?)豪華なお弁当を作ってくれて、みなさんこんなにたくさん食べきれないわ、と言いつつ、たくさん召し上がっていました。参加された方々は各事業所でも積極的に質問もされていましたが、アンケートの中でも、具体的な質問や要望なども記入してくださりました。そして、大変満足、満足との感想が多く、その中の声として、自社で作っている食事が美味しかった、職員さんの対応が丁寧でよかった、施設の違いがわかったなどの嬉しい感想が多くあり、私たちとしても達成感が沸きました。今回見学ツアーを行うにあたり、事業所の垣根を越えて、いろんな職員の方が快く手伝ってくれましたし、応援してくれました。地域の方からたくさんの方の申込があったことも有難いことでしたが、このイベントを通して、職員の方々と力を合わせて成功させられたことが何よりの嬉しいことでした! 第二回はいつですか。の声がすでにありますので... また企画できたらと思っています。

室長 小林 朋恵



恒例！サマージャンボ宝くじ抽選会！

今年のサマージャンボ宝くじの抽選は、COCO元町式番館で開催致しました。

皆さん、宝くじを購入するために体操に参加したり、館内にある札所を回る巡礼を行ったりと、どんぐりマネーを通帳にたくさん貯金してきました。住宅ではどんぐりマネーを使う機会があまりない事もあり、年2回の宝くじ購入をとて楽しんでしています。

購入してからは1等当選を夢見て、宝くじの話題で会話が弾んでいました。抽選会場の壁や抽選箱を数日前から飾り、あとは抽選の日を待つだけ・・・

宝くじの抽選を目の前で見られると、抽選開始時間30分前から席について、みなさん緊張気味で無口に・・・

当選番号が次々と読み上げられると、一気に雰囲気が変わり賑やかに。

「私の番号だ」と恥ずかしそうに手を挙げる方の周りからは「当たった、良かった」と自分のことのように喜ぶ入居者様。

1等の景品デジタルフォトフレームが当たった方は、ご自分の手に持っている抽選券を何度も見直し驚いて目を丸くしていました。

その日の夕食では「私は3等のゼリーが当たったから今晚のデザートにしましょう」とおすそ分け。

「私は佃煮が当たったから明日の朝食の時にみんなで食べましょう」とあるテーブルから聞こえてきました。

思いやり溢れる入居者様達に囲まれていると感じた瞬間でした。

次の日から年末ジャンボ宝くじの購入に向けてどんぐりマネーを稼ぐ入居者様の姿がありました。

COCO元町式番館 安齊 芳江

第11回 サマージャンボ宝くじ

販売期間 1枚500円—め&どんぐりで販売！
※1人10枚までとさせていただきます

通所系：令和元年7月8日～7月19日
住宅系：令和元年7月20日～7月25日

抽選日 【令和元年7月26日】
会場 【COCO元町式番館】14時開催

1等・1万円相当!? 電化製品
2等・高級食器
3等・美味しいゼリー詰合

おもてなし賞 10本
嬉風会 10本
おいらーく 25本





第51弾!

ドラムす子でバチ当たり人間のよもやま話

「探点すると100点満点の1000点!」探査機「はやぶさ2」が小惑星「リュウグウへ」への2回目の着陸を成功させ、開発者が記者会見においてその仕事ぶりを評価した言葉だ。

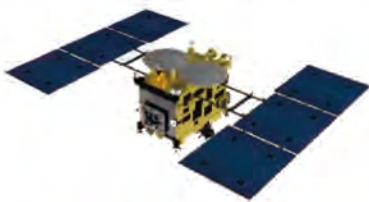
太陽系が生まれた46億年前の姿を残すとされる小惑星の、さらに太陽などの影響を受けていない地下の物質の採取に成功したのである。大偉業だ。「太陽系の歴史のかけらを手に入れることができた。運用はパーフェクトだった」と開業者。はやぶさ2が小惑星の地下の物質採取を目指したのは、地表と比べて太古の状態をとどめているため、生命の起源や地球の成り立ちなどを理解するのに役立つ極めて重要なものだからだ。

宇宙航空研究開発機構(ジャクサ)によると、はやぶさ2は正常に飛行しており、2020年冬には地球へ帰還。すぐに研究者が採取試料の分析を始める予定だ。どんなことが解明されるのか、正に宇宙のロマンだ。是非無事に帰ってきておくれ。

ところで今回の小惑星が、何故「リュウグウ」と名付けられたかというところ、浦島太郎が竜宮城から玉手箱を持ち帰るといことが、はやぶさ2が小惑星のサンプルが入ったカプセルを持ち帰ることと重なること。また小惑星は水を含む岩石があると期待されており、水を想起させる名称であることが望まれたからでもあるらしい。素敵なネーミングだ。日本は初代はやぶさで小惑星イトカワの物質を初めて地球に持ち帰り、世界の小惑星探査をリードしてきた。2020年代には火星の衛星からの物質回収を目指しているらしい。

はやぶさ2は種子島宇宙センターから打ち上げられ3年半以上もかけて目的地のリュウグウに到着した。それにしても地球から2億8000万キロも離れている遠い遠いリュウグウへ、どうしてはやぶさ2を正確に導けるのだろうか。無人だから地上基地で遠隔操作しているのは間違いないが、実に不思議だ。

我が家のテレビは目の前にあるくせに、リモコンが正常に作動しないことがある。パソコンもしよっちゅう画面が固まる。妻にいたってはすぐ横にいる私の頼みをなかなか聞こうとしないし、聞こえないふりまでする。はやぶさ2これらの違いを宇宙的表現で言えば「月とスッポン」ではないか。ああ誰か私を竜宮城に連れて行って・・・とほほ。



朝礼でのステキなお話 第2回

「だろー運転」から「かもしれない運転」へ～

うらら伏古 宮川 由香里

私は6月に運転免許の更新に行き、とても印象深く感じた事を朝礼で発表させて頂きました。

講習時のビデオでAさん会社員(営業職)はいつも通る道を交通ルールを守りながら運転していました。信号の無い見通しの悪い交差点をAさんは制限速度を守りながら通過したその瞬間・・・!!

突然、自転車飛び出して来て人身事故を起こしてしまいました。Aさんは心の中で『交通ルールを守って運転していたのだから自分は悪くないのに・・・』と思いました。

会社に戻ってからその時の内容を上司へ伝えた所、上司から「自分は交通ルールを守って運転していたのだから大丈夫だろーと思うのではなく、見通しの悪い交差点だからこそ、人や自転車が飛び出してくるかもしれない」と思い、いつでも止まれるように運転するべきだったんだよ。」と教えられたのです。

講習では当たり前前の話ですが、私は介護業界でも同様の事が言えるのではないかと思います。

これからはいつも通りだから大丈夫だろーと思うのではなく、入居者様がこうなるかもしれない又はこうするかもしれないとより一層意識した行動をしていきたいと思いました。

そもそも優良講習であればビデオを観る事も無かったです。2時間の講習を受けたおかげで学びを深める事が出来ました

(笑)

良かったのか・・・悪かったのか・・・皆さんは交通ルールを守った運転をして下さい!(笑)



7月25日(木)松橋ホーム長の運転するマイクロバスで石狩市にあるサーモンファクトリーへ行きました。

当日の天気は曇りではありましたが、とても暑く、ドライブ日和でした。到着するや否や涼しい店内へ。売店には鮭の切り身や様々な珍味がずらりと並んでおり、試食を一生懸命される方、つついかごに入れすぎてしまう方やご家族にお土産を買われる方、ご自分のご飯のお供にと塩辛など買われる方様々でした。

買い物後は、皆でソフトクリームを食べながら一休み。お話好きの方が多く、お話に花が咲きます。休憩後は、東ふ頭まで足を伸ばし、潮風に当たりながら景色を楽しみました。景色を見ていると偶然北キツネの親子に遭遇、一同盛り上がりました。外の空気にも触れ、皆さん満足げな様子で帰路につきました。

これからどんどん夏本番となり、暖かくなります。皆さんが楽しいと思えるような外出企画これからも考えていこうと思います。さて次はどこに行きましょうか??



介護事業所 えくぼ元町
行事報告
 看護小規模多機能型居宅

デイサービスセンター生きがいサロン銭函 行事報告

当別にある豊生会さくらで行われた夏祭りに行って来ました。

銭函から当別までは片道1時間弱のドライブ。晴女と晴男が多く天気にも恵まれいざ銭函を出発。行きの車内では「当別なんて行った事ない」「お祭りも何十年も行っていない」「この道畑しかないね(笑)」等、利用者さん同士話が盛り上がりあつという間に到着。到着すると同時に何食べる?と余興そっちのけで食べる話に・・・。

事前に購入していた食券を握りしめ、自分達で売店に並び購入。足元が砂利道にも関わらず両手に食べ物を持ちながらもつままず、スイスイと歩かれる利用者さんを見て、デイでの生活リハビリの効果だ!!と思いつつ見守っていると、利用者さんから「早く自分の食べる物買ってきて。私達はもう買って来て食べるの待ってるんだから」とせかされ怒られ・・・慌てて職員も購入(笑)

ちらし寿司や焼きそば、綿あめ等「美味しいね」「外で食べると格別だね」等楽しみながら残す事なく食べられ大満足。銭函の利用者さんは、美味しい物を食べに行く為なら往復で2時間のドライブでも平気なたくましい方々です!!

しかし、流石に帰りの道中はお腹いっぱいでお天道様にもあたり、車の心地よい揺れには勝てず、全員ウトウトと眠っていました(笑)
皆さん次は何を食べに行きましょうかねえ



高屋センター長



特集! 人間万事塞翁が馬



似顔絵作:松田 郁美

小樽生まれの94歳S・Eさん。二人兄弟で小樽の緑町で元気に育ち、若い頃は日本赤十字で戦争で苦しむ子供たちの為に働いておりました。きっかけは「人と接するのが好きだから」これだけの理由だったそうで、あまり長くは続かなかったそうです。

その後は銀行に勤めましたが、終戦直後にアメリカ兵が占拠、物資など盗まれ大変だったそうです。直後の休戦で去っていったとのこと。この頃の記憶が今もSさんの心の中には強く残っているそうです。

その後Sさんは26歳で結婚、三人の子宝に恵まれました。当時の生活は貧しく、旦那さんは外に働きに行き、Sさんは三人のお子さんを1人で育てました。子供たちは現在、立派に育たれ娘さんはSさんと一緒に生活、長男さんは手稲区でお仕事、次男さんは仙台に勤められております。しばらく会えていないので、家族が全員集まるのは法事の時だけ、もっと会える機会

があったらいいな」と話されておりました。

Sさんが小樽から札幌に来たのは平成27年。札幌に来て大変だったことは、娘さんと一緒に暮らすようになってから体重が一時期10〜20kgも増量したこと。太った理由は「娘さんがいつも美味しい料理を作ってくれたからかな」と恩返しに最近やっていない料理を娘さんのためにしてあげたいとおっしゃるSさんの得意料理は「グラタンと茶碗蒸し」。

Sさんの最近の楽しみは、デイサービスに行くことと、短歌を書くことで、短歌は春二レという本に載るほどの腕前です。短歌は夜中に勉強されているそうで、よく寝不足になるそうです。

最後に今後の目標を「料理にまたチャレンジ、短歌はたくさん書く。この目標を達成させるためこれからデイサービスを元気に通うよ」と笑顔で意気込んでくれました。

てんやわんや夢 介護職員 熊谷 勝志

リクエスト

高峰 美枝子 「湖畔の宿」

理由

戦後初めてみんなと歌った曲です。戦時中のことを思い出し、今でも時々口ずさみます。

ダイバージョナルセラピー

DTってなーに？



《流し、ではなくなってしまいました》

CoCo東苗穂では、季節に合わせた旬の物を提供しています。今回は、そうめん流しを企画致し7月12日に予定しましたが、当日はあいにくの強風。「そうめん流し」ではなくなっしまいました。残念でした。前日までに流しそうめんの麺・トマト・サクランポ・スイカ等季節の果物、野菜、そして薬味（ネギ・大葉・みょうが・しょうが）を揃えていました。

そうめんは流さずに大ざるを用意しざるに盛り付け、そうめん・丸いものをそれぞれつかむ為には割りばしを用意し、食べて頂くようにしました。サクランポとまるい水ようかんを一緒に器に入れると、水ようかんをブドウと勘違いをしている方もいらっしゃいました。自分でそうめんの量を決めていらっしゃる方、少し多く食べてしまったと言われている方。めんつゆはダシから厨房で作って頂き、食べ終わった後は汁を全て飲まれている方もいらっしゃいました。そうめんの薬味を工夫することにより、五感に訴え、薬味についても利用者様同士で話す機会を持って、良かったと思います。

次回はもっと天気が良く暑い日を選んで楽しいそうめん流しの日に行きたいと思っています。

CoCo東苗穂 山田 智恵子

おいらーく

7月行事内容と8月行事予定

令和元年 8月行事予定

令和元年 7月行事内容とイベント風景

令和元年 8月行事予定

令和元年 7月 イベント風景

せんり	○元町サマーフェスティバル ○ビューティーボランティア
うらら伏古	○15日 うらら盆踊り ○25日 きらら・うらら夏祭り ○28日 DTソナスセッション
COCO東雁来	○6日お茶の間喫茶ココよ
東雁来式番館	○花火大会 ○セブンイレブン訪問販売 ○余市の果物屋さん ○避難訓練 ○洋服の移動販売
COCO元町	○サマーフェスティバル ○ジギスカン ○外出行事
元町式番館	○第3区町内盆踊り ○ビューティーボランティア
えくぼ東	○盆踊り大会参加 ○調理レク
COCO東苗穂	○七夕 ○茶の間喫茶 ○隣の屋ご飯
ホームオブ	○七夕 ○盆踊り ○誕生会
銭函お散歩	○ちぎり絵展示会 ○3日・17日 趣味の会 ○29日 高等支援学校 ボランティア部生徒さんと コラボ。折り紙展示会

○考流学舎カフェ ○事業所内研修	
○15日 不在者投票 ○20日 運営懇談会 ○25日 買物レク(AM) サッポロビール園見学	 
○9日 お茶の間喫茶ココよ ○19日 衣料品販売タケハウス	
○10日・25日 セブンイレブン訪問販売 ○18日・30日 余市の果物屋さん訪問販売 ○16日 考流学舎さん「一丁目カフェ」 ○28日 8周年記念行事	
○サーモンファクトリー バスツアー ○セブンイレブン 移動販売開始	 
○6日 第4区町内 避難訓練 ○7日 ロイズバラ園 ○28日 夏祭り	 
○外出レク (ローズガーデン) ○海の日DT	 
○残念そうめん流れません！ ○お茶の間喫茶	  
○夏祭り	
○1日～ちぎり絵展示会 ○24日 フラワーアレンジメント ○30日 認知症カフェ	

経営方針

『高齢者も障害者も住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくり』を目指し、つねに『ご利用者様の立場にたった総合的な介護・福祉企業』のあるべき姿を探究し続けるオンリーワン企業を目指します。